

2024 年度事業報告

(1)一般社団法人の状況に関する重要な事項(事業報告)

①会員制体験サークル「ヤモーディングビレッジ」について

2月にコンテンツの詰め作業を実施し、オープンできる体制を整えた。しかし、事業拡大に伴う人手不足の影響から、サービス開始を延期。年間を通して人手不足だった事もあり、2024年中の開始ができなかった。

②奈良田温泉女帝の湯

4月より指定管理者として早川町より管理委託を受けた。契約期間は4年で、赤字体質が続く施設の改善・改革を行い、指定管理料の削減を目指すように早川町より指示を受けた。

2024年は施設の省力化、顧客満足度向上に向けた基盤整備をする1年と位置づけ、整備、データ収集、設備投資を行った(詳細は明細書1を参照。)

また、早川町では2026年3月までの間に施設を一部改修する方向で検討を進めており、当社でも改修案を提案した。その中の一つとして「施設の一部を宿泊できるようにする」という案を提案したが、この案が採用された場合、収益増加が見込めるのと同時に、さらなる職員の確保が必要となってくる。

③移住受け入れ基盤整備(空き家の交渉)

奈良田の空き家を法人で購入もしくは借り上げ、社宅をはじめとした活用可能な物件として順次確保していく事業。今年度の成果は下記のとおり。

交渉決裂	1軒	
購入	3軒	整備済 1軒
		整備中 2軒
現有物件	計4軒(代表理事個人所有が他1軒)	

整備は主に水回り等の最低限の改修を法人主導で行い、それ以上の整備については住み手に自由にDIYをしてもらっている(資材費等は会社で負担)。

現状、物件によっては水回りの改修費が予想以上にかかっている。加えて、2023年に行った調査では、物件の状態が良く、売却・貸出意向のある物件が無い事から、今後は土地を購入し、新築で低廉な住宅を建設する方向への転換を検討する。

ただし、状態が良い物件については、所有者の意向に変化がないか情報収集を続ける。

④その他

<採用>

2023年に採用した職員3名のうち、1名が9月に退職し、2名を有期雇用職員から正職員に転換した。また、女帝の湯運営に際し、3名の奈良田住民をアルバイトとして採用した。

欠員に伴い、10月より職員を募集したところ、4名の応募があり、うち男性1名を採用した。

2025年4月より奈良田に移住し勤務を開始する予定。

現状、女帝の湯運営に際し、女性職員が必要な事、2026年改修で女帝の湯内に宿泊施設ができる可能性があることから、2025年も募集は継続する。

なお、体験事業に関わってきた大学生のうち女性1名が2026年4月より当社への就職を希望している。

<助成金の活用、社員の能力向上>

人材開発支援助成金を活用し、職員ごとに研修を実施した(社会人スキル、SNS戦略、野外での救命救急等)。また、キャリアアップ助成金(有期雇用から正職員への転換を助成)、業務改善助成金(賃上げ時の設備投資に助成)、特定求職者雇用開発助成金(高齢者雇用への助成)への申請手続きを進めており、2025年中に受給予定。

<子育て事業>

当社ビジョンでは、次世代の奈良田に必要な要素の一つに、「奈良田に住む子どもが、幼い頃より山人文化に触れ、将来山人文化を活用し奈良田で起業できるような保育園・学校」をあげている。

これと関連して、代表理事夫婦が里親制度を活用し、10月より2歳半の女兒を預かる事となった。この機会を活用し、保育園づくりを視野に入れ、情報収集を行い、事業化ができるか検討していく。

※里親制度自体は月額15万円程度の措置費(委託費)が県から支払われるが、国は「事業ではない」と明示している。里親の発展系として、ファミリーホームがあり、これなら法人で運営が可能だが、「子ども2人を同時に2年以上預かった経験」等が要件となり、現状では難しい。

(2)業務の適正を確保するための体制の整備に関する事項

①理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

早川町商工会より小口亮平税理士事務所の紹介を受け、3回のオンライン相談を実施。2024年度決算より、申告書作成を委託する事になった。

②損失の危険の管理に関する規程その他の体制

2024年7月より各種損害賠償と休業補償をサポートする事業活動総合保険(損保ジャパン)に加入した。

2024年度 損益計算書
2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位：円)

科目	金額
売上高	
女帝の湯指定管理	21,272,220
移住受け入れ基盤整備	136,000
売上高 計	21,408,220
売上原価	
期首商品棚卸	0
当期商品仕入	3,859,995
期末商品棚卸	549,810
売上原価 計	3,310,185
売上総利益	18,098,035
販売管理費	
研修費	497,781
役員報酬	1,680,000
給料手当	3,679,745
賞与	160,000
法定福利費	1,040,463
福利厚生費	124,745
外注費	171,490
荷造運賃	5,040
交際費	3,810
会議費	29,610
旅費交通費	142,281
通信費	455,672
消耗品費	3,463,995
修繕費	569,800
水道光熱費	1,508,389
新聞図書費	1,564
諸会費	170,100
支払手数料	486,590
車両費	584,658
賃借料	1,042,626
保険料	184,260
租税公課	294,050
研究開発費	60,965
減価償却費	2,312,382

雑費	89,147
販売管理費 計	18,759,163
営業損益金額	-661,128
営業外収益	
受取利息	659
出向収入	896,000
雑収入	818,757
営業外収益 計	1,715,416
営業外費用	
雑損失	54,241
営業外費用 計	54,241
経常損益金額	1,000,047
税引前当期純損益金額	1,000,047
法人税等	
法人税・住民税及び事業税（2023年度）	71,000
法人税・住民税及び事業税（2024年度）	374,500
法人税等 計	445,500
当期純損益金額	554,547

貸借対照表

2024年12月31日現在

(単位：円)

科目	前年度	今年度	増減
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	1,085,992	3,973,870	2,887,878
前払金		2,005,300	2,005,300
売掛金		82,210	82,210
商品		549,810	549,810
未収入金		288,500	288,500
流動資産計	1,085,992	6,899,690	5,813,698
固定資産			
有形固定資産			
機械装置		1,628,825	1,628,825
車両運搬具	464,109	300,002	-164,107
土地	1,200,000	4,500,000	3,300,000
有形固定資産計	1,664,109	6,428,827	4,764,718
無形固定資産			
ソフトウェア		649,000	649,000
無形固定資産計	0	649,000	649,000
固定資産計	1,664,109	7,077,827	5,413,718
資産計	2,750,101	13,977,517	11,227,416
負債の部			
流動負債			
役員借入金	5,000,000	12,950,000	7,950,000
買掛金		4,074	4,074
クレジットカード買掛金		562,989	562,989
未払金		227,990	227,990
未払法人税等		290,700	290,700
預り金	11,172	48,288	37,116
流動負債計	5,011,172	14,084,041	9,072,869
固定負債			0
長期借入金		1,600,000	1,600,000
固定負債計	0	1,600,000	1,600,000
負債計	5,011,172	15,684,041	10,672,869
純資産の部			
基金	0		0

利益剰余金			
繰越利益剰余金	-2,261,071	-2,261,071	
当期純損益金額	0	554,547	554,547
利益剰余金 計	-2,261,071	-1,706,524	554,547
純資産 計	-2,261,071	-1,706,524	554,547
負債及び純資産 計	2,750,101	13,977,517	11,227,416